



平成26年10月31日
国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所

お知らせ

無事故・無災害を目指した静岡の港づくり

～清水港湾事務所 工事安全大会(出席者60名)が開催されました～

●概要

発注者及び当事務所管内(清水港・御前崎港・田子の浦港・下田港)の工事受注者が一堂に会し、港湾工事における安全対策の充実、安全意識の向上、安全管理のより一層の徹底を図り、無事故・無災害を目指した静岡の港づくりを目的とし、「清水港湾事務所 工事安全大会」が開催されました。

静岡労働基準監督署及び清水海上保安部による講演、中部地方整備局による講話、工事受注者による工事安全スローガンの提唱の3部構成とし、工事事務撲滅、安全意識の向上等を促しました。

●日時：平成26年10月29日(水) 14時00分～16時30分

●場所：清水マリビル5F(清水区日の出町9-25) 静岡県会議室

●配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、静岡県政記者クラブ、
静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

●問合せ先

国土交通省	中部地方整備局	清水港湾事務所	副所長	山田(やまだ)
国土交通省	中部地方整備局	清水港湾事務所	保全課長	村松(むらまつ)
			Tel	054-352-4158
			Fax	054-351-2318

工事安全大会が開催されました

中部地方整備局清水港湾事務所主催の工事安全大会には、清水港、田子の浦港、御前崎港、下田港において、工事を担当する11社、協力会社、講師、発注者を含め60名が出席しました。

大会では、厚生労働省静岡労働局・静岡労働基準監督署の後藤次長より、「建設業における労働災害について」と題し、静岡労働基準監督署管内における建設業を含む労働災害発生状況と災害事例、労働安全衛生法の改正等に関する講演に引き続き、清水海上保安部交通課の柏木交通課長より、「海上工事における安全対策について」と題し、海上交通のルール、海上事故の事例、事故発生時の措置等に関する講演を行いました。

その後、中部地方整備局港湾空港部港湾空港整備・補償課の中津川課長補佐より「港湾工事の安全について」と題し、管内で発生した港湾工事関係の事故事例を踏まえた事故防止のポイントに関する講話、さらに、同局道路部交通対策課の清水課長補佐より、「大型車両の通行の適正化の取り組みについて」と題し、大型車の道路に与える影響を踏まえ、道路の老朽化対策に向けた大型車両の通行の適正化の取り組みについての講話を行いました。

休憩をはさみ、工事を担当する11社より、各社が受注している工事内容の説明、「各現場の無事故・無災害に向けた取り組み」として、工事安全「スローガン」の紹介、工事安全に関する創意工夫の報告があり、「無事故・無災害を目指した静岡のみなとづくり」に向け、再度、確認し合いました。

また、安全大会では、技術者が自己研鑽の活動を通じて、安全・安心な国民生活を支える良質な社会インフラを整備・管理するための技術力と資質の向上を図るため、（一社）全国土木施工管理技士会連合会の承認を受け「継続学習制度」（CPDS）の学習プログラムの一環として開催しました。



受注者報告状況



受注者報告聴講状況

無事故・無災害を目指した静岡の港づくり

平成 26 年度 清水港湾事務所 工事安全大会 工事安全スローガン

平成 26 年度 新興津防波堤築造工事 五洋建設(株)
「基本ルールの徹底と確認の励行 ヨシ！」

平成26年度 清水港外港防波堤(改良)築造工事 河津建設(株)
「みんなでつなぎ高まる意識、達成しようゼロ災害」

平成26年度 清水港新興津防波堤消波工事 青木建設(株)
「転落事故0(ゼロ)を達成する」

平成 25 年度 御前崎港防波堤(東)築造工事(その 2) (株)不動テトラ
「安全最優先」安全と仕事を天秤にかけず、「安全に仕事をする」

平成 26 年度 御前崎港防波堤(東)被覆工事 鈴与建設(株)
「重機災害の撲滅」

平成 26 年度 御前崎港防波堤(東)消波工事 大石建設(株)
安全施工は、全ての面で最優先する。

平成 26 年度 御前崎港防波堤(西)(改良)築造工事(その2) 静和工業(株)
「無事故・無災害での完工」

平成 26 年度 下田港防波堤築造工事 若築建設(株)
「まず点検、体調、設備、資格、手順」「健康管理の徹底」

平成 26 年度 下田港防波堤本体及び根固工事 (株)齊藤組
「労働災害ゼロ」

平成 26 年度 田子の浦港航路泊地(-12m)港口部整備工事 静和工業(株)
「和を持って現場にのぞみ、絶対に、大きな災害はもちろんの事、決して小さなケガも出さないように全員で一丸となり、安全作業を行う」

平成 26 年度 田子の浦港航路泊地(-12m)港口部整備工事(その2) 青木建設(株)
「全員参加でのリスクの低減、撲滅ヒューマンエラー」